

第2回ワークショップ結果概要

深沢区域

日 時：平成30年10月5日（金） 19時～21時

会 場：深沢会館

参加者：22人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第1回ワークショップのふりかえり
(席替え)
4. グループワーク
 - (1) この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？
 - (2) (1)で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？
5. 交通手段の事例紹介
6. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第1回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■席替え

当日の参加者には、第1回ワークショップと同じ席に着いていただき、資料説明の後、より多くの人と話し合いをしていただくことを目的として、くじ引きによる席替えを行った。

■グループワークの結果1：この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

「この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？」との設問のもと、4つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合った。

■グループワークの結果2：グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」との設問に対し、引き続き同じテーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

テーブルごとの意見を集約すると、概ね次表のとおりとなった。

■「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」

○いつでも利用できるドア to ドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に乗れる交通 ・安価なタクシー ・自宅から目的地まで行ける交通 ・タクシー券（自由な時間に利用できる）
○病院や駅までや、買物用に運行してくれる交通	<ul style="list-style-type: none"> ・病院まで行く交通 ・武蔵五日市駅や、できれば秋川駅まで行く交通 ・食べ物がないと生きていけない
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪時の交通の確保 ・運転できなくなった時のための交通 ・住民主体の交通（市から自治会へのワンボックスカー貸与） ・安価（300円/回程度） ・小型のバス ・必要な運行頻度を満たす

■交通手段の事例紹介

グループワーク終了後、第3回以降のワークショップに向けて、各地の公共交通に対する取組事例の概要を紹介した。

■テーブル別結果概要 グループワーク1

テーブルA

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・運転できない人/今後運転ができなくなる人のための交通	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から目的地まで送迎してくれる交通 ・安価なタクシー ・安い料金でサービスしてくれる交通 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に運行してくれる ・2回/週ぐらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物 ・病院 ・駅 	-
・外部から来る来客のための交通	・定期的に使えようようなバス（小さな車両）	-	-	-
-	-	・鉄道の頻度を増やしてほしい	-	-
-	-	-	-	・冬期でも移動できる交通の確保

テーブルB

対象者	交通のタイプ	目的地	頻度・時間帯	料金	その他
・免許返納をした時	・どこでも目的に向かって行ってくれること ・タクシーのような自由な車 ・タクシーのような乗り合い乗車	・駅までの足 ・駅に行く	・自由な時間に利用できる ・呼んだときに来る ・自由な時間に行ける	・タクシーの何%か負担していただく ・無料タクシー券 ・タクシー券（1カ月3枚） ・タクシー料金補助 ・タクシー券の配布（用途は限定）	・自動運転者で運転者が不要になる
・病気になって運転できないとき	・盆堀方式で	・病院に行く ・鈴木内科など	・定期便（1日5便） ・予約せずに乗れる	・代金は1回500円で	・ボランティアは事故があったときの対応が不安
-	・運転できる人がヘルプ	・イオン ・買物ツアー	-	-	-
-	-	・市役所へ	-	-	-

テーブルC

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・自分が運転できなくなったときのための交通 ・足腰が悪い方のための交通	・自宅から乗れる交通 ・ワンボックスカー（4～5人乗り） ・1～2割程度の負担で乗れる交通 ・300円/回で乗れる交通	・3回/日程度（朝・昼・晩） ・3回/週程度（月・水・金）	・病院 ・買物 ・市役所 ・秋川駅周辺 ・日の出	-
-	-	-	-	・どのように手配するのか ・誰が運転するのか

テーブルD

出発地	目的地	頻度	車両	料金
・真光院の近くにバス停	・五日市駅	・週2回	・ハイエース程度の車両	・料金補助（タクシー代等）
・自宅近く	・秋川駅	・朝夕	-	-
-	-	・3～4回/日	-	-
-	-	・五日市線に合わせたダイヤ	-	-

■テーブル別結果概要 グループワーク2

テーブルA

A.ドア to ドアの価格の安い交通	・必要な時に乗れる交通 ・安価なタクシー ・自宅から目的地まで行ける交通
B.必要な時に運行するバス	・乗客がない場合は運行せず、必要な時に運行するバス
C.病院、駅（五日市）までの運行してくれる交通	-
D.積雪時の交通の確保	・冬季の降雪時にも運航してくれる交通 ・除雪

テーブルB

1位：いつでも利用できる（本数が少ないと不便）	・ 自由な時間に利用できる ・ タクシー券（自由な時間に利用できる）
2位：病院に行ける	・ 病院に行く
3位：駅までいける（遠くに行ける・バスもある）	・ 駅まで
3位：買物にいける（食べ物がないと生きていけない）	・ 買物

テーブルC

A.通院・買物で利用できる交通	-
B.ドア to ドアの交通	・ 自宅から目的地まで行ける交通
C.運転できなくなったときのための交通	-
D.住民主体の交通	・ 市から自治会へワンボックスカーを貸与してほしい
E.安価な交通	・ 300 円/回程度の交通

テーブルD

A. 駅までのアクセス	・ 武蔵五日市駅まで行ってくれば後は何とかなる ・ できれば秋川駅にも行ってほしい			
B. 運行頻度	<table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: none;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕 ・ 1日に3～4回 ・ 1日に4～5回 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td style="border: none;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車が運転できなくなったことが前提 ・ 病院、買物等目的により時間帯はまちまち </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕 ・ 1日に3～4回 ・ 1日に4～5回 	}	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車が運転できなくなったことが前提 ・ 病院、買物等目的により時間帯はまちまち
<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕 ・ 1日に3～4回 ・ 1日に4～5回 	}	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車が運転できなくなったことが前提 ・ 病院、買物等目的により時間帯はまちまち 		
C. 車両	・ 小型のバス			

■ 第2回ワークショップの様子

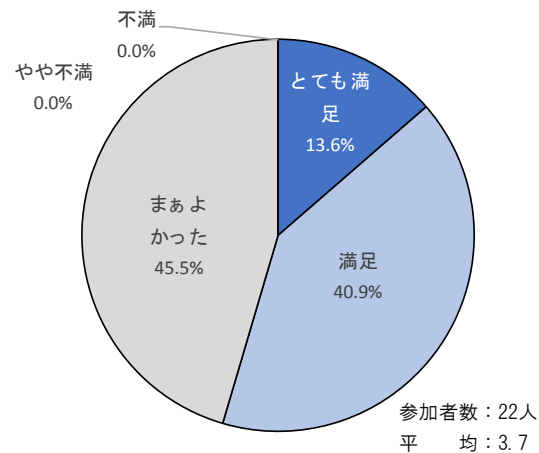


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・年をとるほどドアツードアでと強く思う。
- ・今回の方がだんだんわかってきた。
- ・年を取ってくる事が色々な面で考えさせられました。
- ・皆さんの意見の方向がほぼ一致していることがわかりました。
- ・まだ先の事と思っていたが、近い将来になってきたと思いました。
- ・最初説明がわかりにくかった。
- ・みんな駅までは行きたいのだという事。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・結局のところ皆思っていること同じでしたので、実現できればよいなあと思います。定期的なバスのものとお個人的な安価なタクシーと。
- ・タクシー（補助）の件、皆同じ考えだと思った
- ・全員車が運転できなくなった時。
- ・ワンボックスを出してもらいたいとの事。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・席替えにより人が替わったので良かった。
- ・自由な発想を気軽に言える場でした。しかし、一定の方向が出てきました。
- ・問題点を順番に表にした事。
- ・皆、自分の事なのでしっかり勉強していた。